

13

編集後記

社会学部 3 年

小川 真科

本年度の研究誌を最後までお読みいただき、ありがとうございます。

当会の活動は本年度も新型コロナウイルスの流行による影響を強く受けており、つい先日まで対面での活動を行ったり部室に立ち入ったりすることすらままならないような状況に立たされていました。しかし、そんな逆境の中でも数多くの新入部員が入部してくださり、また既存の部員も精力的に活動に参加してくださったことでなんとか本誌を形にすることができ、正直ホッとしています。

また、一橋祭に関しても本年度は残念ながら全面オンラインでの開催となってしまいましたが、それに伴って研究誌を印刷する必要がなくなったこともあり、今回は研究誌の編集スタイル（特に表紙や目次）を思い切って変えてみました。個人的には「シンプルに読みやすく、一目でテーマの伝わる編集」を意識したつもりではありますが、まだまだ至らぬ点もあるかと思いますので、編集に関しても是非忌憚のないご意見をいただけますと幸いです。

最後になりますが、本誌をお手に取ってくださった読者の皆様、また原稿を寄せてくださった部員の皆さんに、この場を借りて改めてお礼申し上げます。ありがとうございました。